

指標に係る課題整理と議論の方向性について

■ 政策評価委員会での取り組み

- ⇒ 基本計画の進捗管理のため、施策に対する外部評価を実施
- ⇒ 目標を大幅に達成、もしくは大幅に未達成の施策を抽出し外部評価を実施。
全体として施策の進捗について概ね妥当との評価をいただいた。

【政策評価委員会の所掌事務】

- (1) 区が実施する行政評価の実施方法に関すること
- (2) 区が実施した行政評価の結果に関すること
- (3) **基本計画の進捗状況に関すること**
- (4) 実施計画の策定に関すること
- (5) 政策提言に関すること
- (6) その他必要な事項

【外部評価の実施状況】

※28年度は試行実施

| 実施年度 | 施策No | 施策名 | 所管部局 |
|-------|-------|---------------------|-----------|
| 28年度※ | 3-3-1 | がん・生活習慣病対策等の推進 | 池袋保健所 |
| | 7-2-3 | 来街者の受入環境の整備 | 文化商工部 |
| 29年度 | 1-2-2 | 地域における活動拠点の充実 | 区民部 |
| | 3-2-3 | 社会参加の促進 | 保健福祉部 |
| | 4-1-2 | 困難を有する子どもやその家族への支援 | 子ども家庭部 |
| | 6-5-1 | 治安対策の推進 | 総務部(危機管理) |
| 30年度 | 2-3-1 | あらゆる分野における男女共同参画の推進 | 総務部 |
| | 4-5-1 | 新しい時代を拓く教育の推進 | 教育部 |
| | 5-1-2 | みどりのネットワークの形成 | 環境清掃部 |
| | 6-2-2 | 良質な住宅ストックの形成 | 都市整備部 |
| 令和元年度 | 2-1-2 | 外国人住民とのコミュニティの形成・促進 | 政策経営部 |
| | 6-3-2 | 道路・橋梁の整備と維持保全 | 土木担当部 |

指標に係る課題整理と議論の方向性について

【政策評価委員会の構成委員（令和2年度）】

| 職 | 氏名 | 区分 | 肩書き(活動分野、所属等) |
|------|--------|-----|----------------------------|
| 委員長 | 原田 久 | 有識者 | 立教大学法学部教授 |
| 副委員長 | 奥島 正信 | 区職員 | 政策経営部長 |
| 委員 | 池田 隆年 | 有識者 | 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会フェロー |
| 委員 | 猪岐 幸一 | 有識者 | 公認会計士 |
| 委員 | 大崎 映二 | 有識者 | 行政アドバイザー |
| 委員 | 藤田 由紀子 | 有識者 | 学習院大学法学部教授 |
| 委員 | 益田 直子 | 有識者 | 拓殖大学政経学部准教授 |
| 委員 | 常松 洋介 | 区職員 | 総務部長 |

【外部評価において抽出された主な課題】

(1) 施策の進捗管理（評価）について

- ・ 数値による定量指標だけで、施策の進捗全てを評価するのは限界がある。
（「豊島区らしさ」「住民の満足度」「創造性」等の要因の指標化の検討）

(2) 指標の設定について

- ・ 基本計画期間中に管理できなくなった指標がある。
- ・ 外部環境の変化や区政方針の転換に伴い施策の目的からややずれた指標がある。
（効果は出にくい社会的重要度の高い施策への配慮）

(3) 目標値の設定について

- ・ 目標値設定の考え方や目標値の達成難易度が施策ごとに異なる。
- ・ 社会情勢等の変化により、目標値の達成が困難になった指標が多くある。

指標に係る課題整理と議論の方向性について

■ 議論の前提

- ① 定量的な指標を継続して設定する
- ② 現状にそぐわない指標は見直す

課題 1 現計画で適切でない指標をどう見直すか（別紙 指標設定における主な課題の具体例）
【方向性】より適切な指標（目標値を含む）を設定する方向で議論

課題 2 施策の定量化が難しい側面をどう評価していくか
【方向性】施策そのもののあり方や「区民意識調査」の活用と合わせて議論

課題 3 基本計画（2025年）とSDGs（2030年）の目標年限との整合をどう図るか
【方向性】2030年に向けた中間目標として2025年を位置付ける方向で議論

課題 4 SDGsの視点による指標をどう活用するのか
【方向性】国の示すSDGs指標などから、活用できるものを参考にする方向で議論

別紙 指標設定における主な課題の具体例

1. 経年変化を把握できなくなった指標がある

(1) 毎年把握できない指標を設定してしまった

- ・5年に1度しか調査しない結果等を指標に設定してしまった（事業所統計等）
- ・アンケート等の取りやめ、アンケート調査項目を変更してしまった 等

(2) 事業の休止／終了に伴い測定できなくなった

- ・研修や当該事業の参加者数を指標に設定してしまった 等

【具体例：経年変化を把握できなくなった指標】

| 施策No | 施策名 | 指標名 | 要因 |
|-------|-------------------------|--|----------------------|
| 1-2-1 | 地域を担う人材・団体の育成支援 | 地域活動への参加意欲【%】 | 「シニア変身講座」後アンケート終了のため |
| 2-3-1 | あらゆる分野における男女共同参画の推進【重点】 | 「今の世の中は男女平等になっている・どちらかといえば男女平等になっている」と思う区民の割合【%】 | 5年おきに実施の住民意識調査結果のため |
| 2-3-2 | ワーク・ライフ・バランスの推進 | 「仕事・家庭・地域、個人の生活」の両立ができている人の割合【%】 | 5年おきに実施の住民意識調査結果のため |
| 2-3-3 | 配偶者等暴力防止対策の充実 | DV相談を区で実施していることを知らない人の割合【%】 | 5年おきに実施の住民意識調査結果のため |
| 4-1-3 | 子どもの成長を地域で支えるための環境整備 | ①子ども支援サポーター人数【人】 | 事業終了のため |
| 4-1-3 | 子どもの成長を地域で支えるための環境整備 | ②子育て人材開発支援事業(子ども講座)受講者数(延べ人数)【人】 | 事業終了のため |
| 4-4-2 | 地域人材の活用 | 「外部人材の活用が有効であった」という質問に、肯定的な回答をする割合【%】 | 学校評価アンケート項目から削除したため |
| 7-1-2 | 地域産業の活性化 | 区内事業所数 | 経済センサス(5年毎)調査結果のため |
| 7-2-1 | 観光資源の発掘と活用【重点】 | 「イベント等認知度」に対し、ふくろ祭り/東京よさこいを認知している回答の割合【%】 | 来街者動向調査終了のため |
| 8-1-1 | 多様な文化芸術の創造と創造環境の整備 | 文化芸術創造支援事業における創造活動件数(にしすがも創造舎におけるワークショップ参加者数)【件】 | 事業終了のため |

別紙 指標設定における主な課題の具体例

2. 高すぎる/低すぎる目標値が設定されている

【具体例：高すぎる/低すぎる目標値が設定されている指標】

| 施策№ | 施策名 | 指標名 | 26年度 時点 | 令和2年 目標値 | 令和元年 実績値 | 達成率 |
|-------|------------------------|--|------------|-------------|-------------|--------|
| 2-3-3 | 配偶者等暴力防止対策の充実 | 配偶者等による暴力相談の中で「受けた暴力の被害期間が10年以上」の割合【%】 | 16.7 | 14.0 | 25.0 | 21.4% |
| 3-1-3 | 福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進 | 障害者差別解消法に関する研修会参加延人数(累計)【人】 | 100 | 2,000 | 6,637 | 331.9% |
| 3-2-2 | 就労支援の強化 | くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援による就職者数【人】 | — | 125 | 258 | 206.4% |
| 3-2-3 | 社会参加の促進 | 生活困窮者就労準備支援事業支援対象者数【人】 | — | 20 | 75 | 375% |
| 3-2-4 | 介護予防の推進 | 地域における高齢者の「通いの場」の受け入れ人数【人】 | — | 1,500 | 11,490 | 766% |
| 3-3-4 | 地域医療体制の充実 | 歯科相談窓口コーディネーター数(件) | 22 | 40 | 158 | 395% |
| 4-1-2 | 困難を有する子どもやその家族への支援【重点】 | 児童人口に占める児童虐待等の等の対応の割合【%】 | 1.5% | 1.0% | 2.39% | -39.0% |
| 6-2-2 | 良質な住宅ストックの形成 | リノベーションまちづくり事業化及び地域貢献型空き家事業補助件数【件】 | 0 | 100 | 8 | 8% |
| 6-4-3 | 被害軽減のための応急対応力向上 | 「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】 | 10.3% | 30.0% | 11.6% | 38.7% |
| 7-2-2 | 魅力的な観光情報の発信 | 区ホームページ月平均アクセス件数(観光)【件】 | 238,000 | 349,000 | 12,284 | 3.5% |
| 7-2-3 | 来街者の受入環境の整備 | TOSHIMA Free Wi-Fi利用数【人】 | — | 380,000 | 3,103,869 | 816.8% |

注) 達成率の算出方法

(大きいほど望ましい指標：実績値／目標値、小さいほど望ましい指標：1 + (目標値－実績値)／目標値)

別紙 指標設定における主な課題の具体例

3. 活動指標と成果指標が混在している

【「施策の達成度をはかる指標」の活動指標／成果指標の内訳】

